

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス わかば園				公表日	2026年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		感染症対策を含め、部屋を分ける等、適切な距離をとり、環境設定をしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童に合わせて、基準より多く配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育終了後、室内や玩具等使用した物の消毒行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてパーティションで空間を仕切る等環境を整えている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		随時話し合いをもち、共通理解に努めている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談や評価表を活用し、保護者の意向を把握し改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		話し合いを行い、職員の共通理解に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		効果的な外部評価を検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各種の研修会内容を検討し、職員が交代で参加している。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人のホームページに公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別に面談を行い支援計画に反映させている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援に関する職員が子どもの状況を理解し、検討会議を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々の子どもの状態を把握し、支援に努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		関係機関や専門療法士からの情報を得ている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		情報を得て、各項目に沿って記載している。また、専門療法士からの指導・助言を支援内容に繋げている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動案や教材案を話し合う等、個々に応じた支援方法をチームで行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		年間計画を立て、様々な経験ができるようにしている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		グループごとの療育案を立て、個々に合わせて設定をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回ミーティングを行い、子どもの行動や支援内容、役割について確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育終了後に活動における子どもの姿、保護者からの話など、報告をし合い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動内容を振り返り、個別の記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		SST活動の姿や療法士とのカンファレンス内容を振り返り、保護者と話をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		計画した内容に加え、自由時間に好きな事ができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健センターの総合発達相談会に参加する等連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の支援計画への記入依頼を受けて、利用者の記入を行い、情報の共有を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			当園の児童発達支援の卒園児が利用している為、把握しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			依頼があれば、情報提供の準備はあります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		公開療育に参加したり、公開療育を行い、他の機関との連携を図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			課外活動を実施しながら子ども同士の交流の機会を作るよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域のネットワーク会議や連絡会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		活動内容や子どもの様子について計画案や写真で周知してもらい、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			在籍の小学校で開かれる「市教育委員会主催のペアレントプログラム」に参加されています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別面談を行い、保護者や子どもの意向を把握している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時、職員や専門療法士との振り返りを通し、助言・支援をしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			各家庭月に1回の利用ですが、保護者の意見を取り入れながら、交流の機会を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する窓口を案内している。苦情・相談等申し入れがあった際は、迅速・適切・丁寧な対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に園だよりやHPにて発信している。その日の活動の様子は毎回お迎え時に写真を用いながらお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人のプライバシーポリシーに基づいて説明をし、同意を得ている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		活動内容や子どもの様子について計画案や写真で周知してもらい共通理解に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、状況を見ながら検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し訓練を実施している。	緊急時は園から連絡をする旨、保護者に伝え、連絡先を確認しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を作成し、職員に周知している。訓練を実施している様子を定期的に保護者へ知らせるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入所面接時に確認をして対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		入所面接時に確認をして対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に非常時の対応・連絡について説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録簿を作成し、職員間で回覧・改善策・注意点について周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		講師を依頼し、研修を実施し共通理解に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に基づいて説明を行っている。		